

デジタルインターフェース関連：光学フィルム

世界トップシェア*

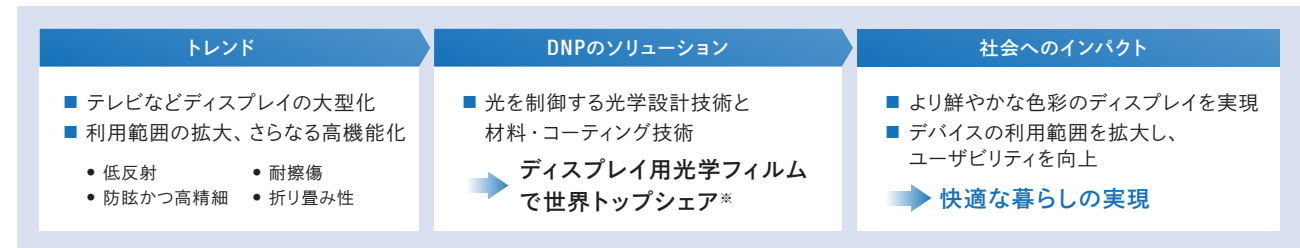
エレクトロニクス部門

※ディスプレイ表面用の反射防止フィルムおよび防眩フィルムにおいて

事業概要&DNPの強み

DNPは独自の光学設計とコンバーティング（材料加工）等の技術を掛け合わせ、多様な機能のディスプレイ用光学フィルムを開発・提供しています。小型から大型まで各種機器の用途に合わせて多様な製品群を展開。世界のトレンドや業界のニーズ、生活者の期待まで先取りして、常にさらなる高機能化に挑戦しています。反射防止フィルムと映り込みを軽減する防眩フィルムで世界トップシェアを獲得し、コントラストや視野拡大を担う位相差フィルムを展開しているほか、ディスプレイの大型化に対応した世界最大幅の設備の導入などで生産能力の拡大にも努めています。今後も、より鮮やかなディスプレイやユーザビリティの向上などで快適な暮らしを実現していきます。

光学フィルムの価値創造プロセス



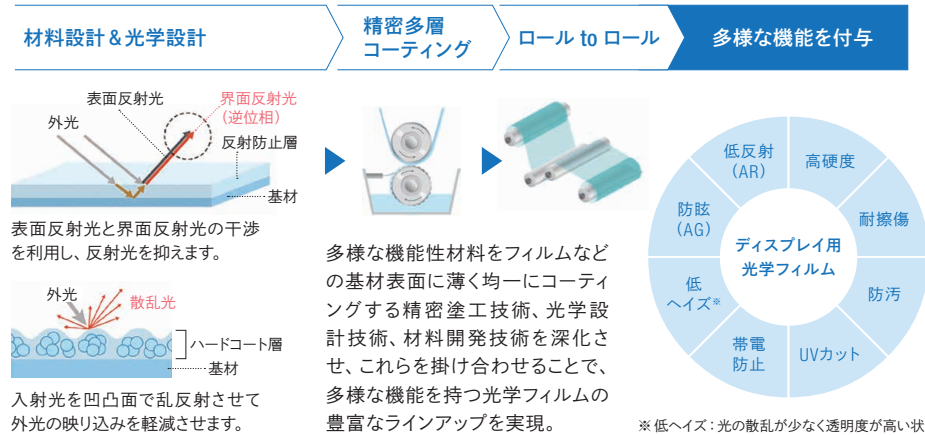
※ディスプレイ表面用の反射防止フィルムおよび防眩フィルムにおいて

DNPの強み（主要製品の製造プロセス）

反射防止（AR:Anti-Reflection）フィルム



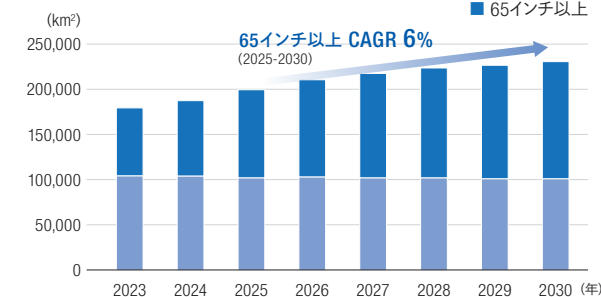
防眩（AG:Anti-Glare）フィルム



市場環境

- テレビ等のディスプレイの大型化などに伴う光学フィルムの需要拡大
- 光学フィルムの生産能力向上、安定的な供給への期待

テレビ用パネル出荷面積予測



出典:Omdia Display Long-Term Demand Forecast Tracker 1Q25 Pivot with 4Q24 Result

事業環境	<ul style="list-style-type: none"> テレビの大型化 2025→30年 テレビ面積全体 CAGR 3% 65インチ以上 CAGR 6%
機会	<ul style="list-style-type: none"> 大型テレビ向け光学機能性フィルムの需要拡大
DNPの強み	<ul style="list-style-type: none"> 大面積・高機能化技術、光の反射を制御する光学設計技術と材料・コーティング技術 多様なフィルム基材に対応し、豊富な生産ラインナップ 高機能かつ高品質な製品を実現するインライン多層コーティング製造設備 高い生産性を追求しながら高品質な製品を安定して供給する能力 <p>重点施策</p> <p>2台目となる2,500mm幅対応の超広幅ラインの稼働による生産能力の向上、安定的な供給を実現(2025年9月稼働予定)</p> <div> </div> <p>広幅コーティング装置を新たに増設した三原工場</p>

成長戦略

- 高機能かつ高品質な製品を実現するインライン多層コーティングの生産能力拡大による一層のシェア拡大
- 多様なフィルム基材に対応し、メーカー各社や生活者の多様なニーズに対応
 - TAC（トリアセチルセルロース）、アクリル、PET（ポリエチレンテレフタレート）に対応可能
 - DNP保有特許を活かして、大型ディスプレイ向けに、低透湿性を有し、虹むらを解消した特殊PETを活用

テレビのサイズ別出荷台数推移（イメージ）



業績推移と将来展望

2024年実績

光学フィルムの出荷面積の拡大などで大幅に伸長

- 背景
- テレビ用パネルの大型化
 - サプライチェーンの変化
 - 中国での消費財買い替え補助金によるテレビ販売の押し上げ
 - 米国の関税政策による駆け込み出荷

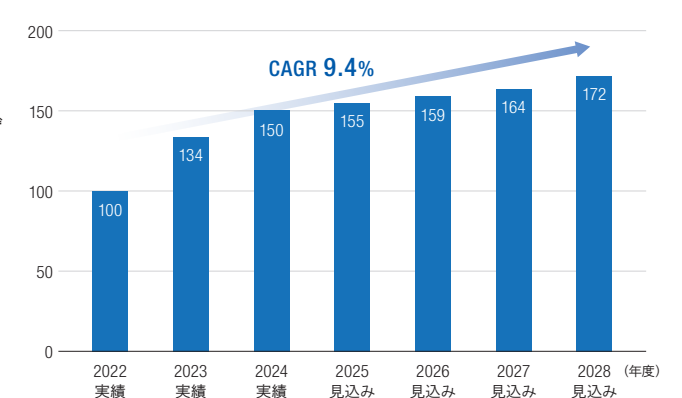
2025年見込み

2024年度に引き続き需要が継続する見通し

今後の展望

ディスプレイの大型化に伴う広幅コーティング装置による広幅製品、多層高付加価値品への需要拡大を見込む

売上高（2022年度の実績を100とした比較）



注力事業

デジタルインターフェース関連：メタルマスク

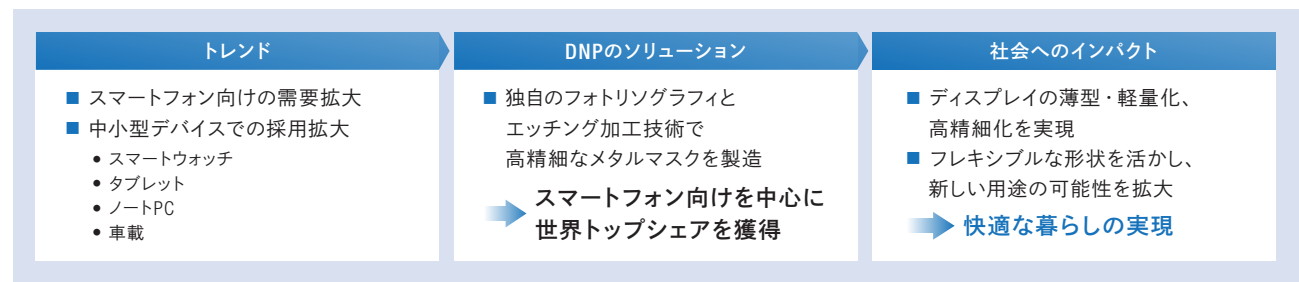
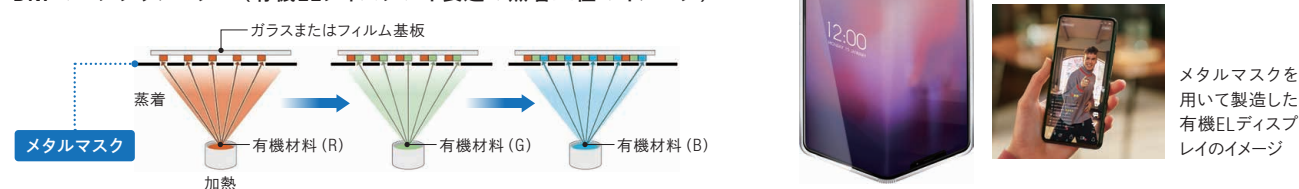
世界トップシェア

エレクトロニクス部門

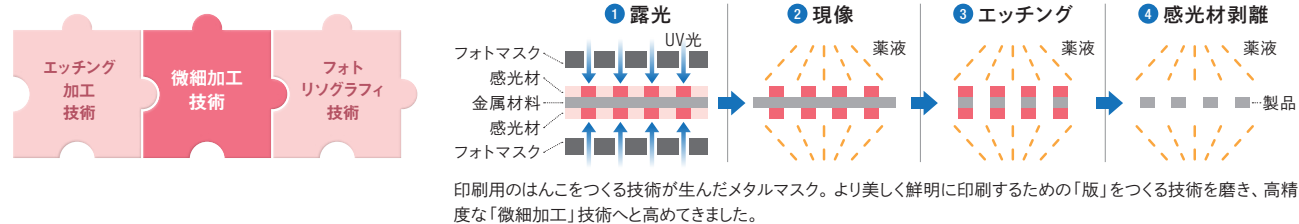
事業概要&DNPの強み

メタルマスクは、中小型の有機EL（OLED）ディスプレイ製造の現在の主流である蒸着方式で、RGB（レッド・グリーン・ブルー）の有機材料を基板上に形成する際の重要部材です。OLEDは近年、スマートフォンをはじめ、タブレット端末・ノートPC・車載用デバイスで採用が拡大し、一層の市場の成長が期待されています。DNPは独自のフォトリソグラフィとエッチングの技術を活かして、2001年にメタルマスクの開発を開始。OLEDの黎明期から市場に貢献し、現在は世界トップシェアを獲得しています。今後もディスプレイの薄型・軽量化、高精細化や大型化など、多様なニーズに寄与していきます。

DNPのコアテクノロジー（有機ELディスプレイ製造の蒸着工程のイメージ）



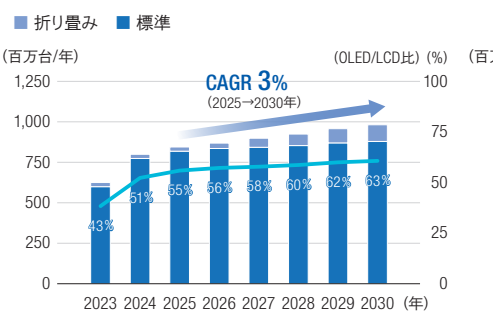
一般的なフォトリソグラフィとエッチング加工技術の概念図



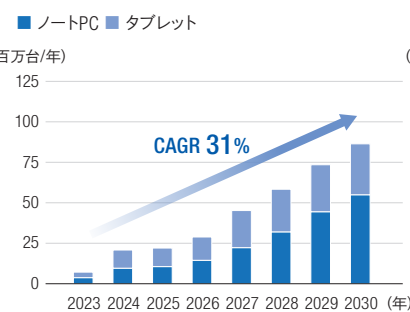
市場環境

- スマートフォンでの有機ELディスプレイの伸長
- タブレット端末やノートPC、車載デバイスでの有機ELディスプレイの採用拡大

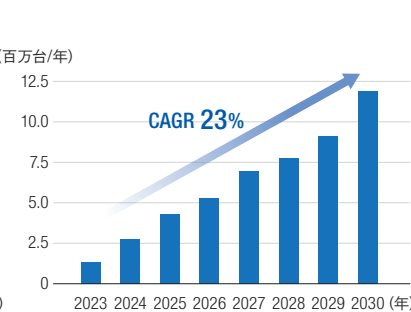
有機EL スマートフォンパネル出荷台数予測



有機EL タブレット／ノートPCパネル出荷台数予測



有機EL 車載ディスプレイパネル出荷台数予測

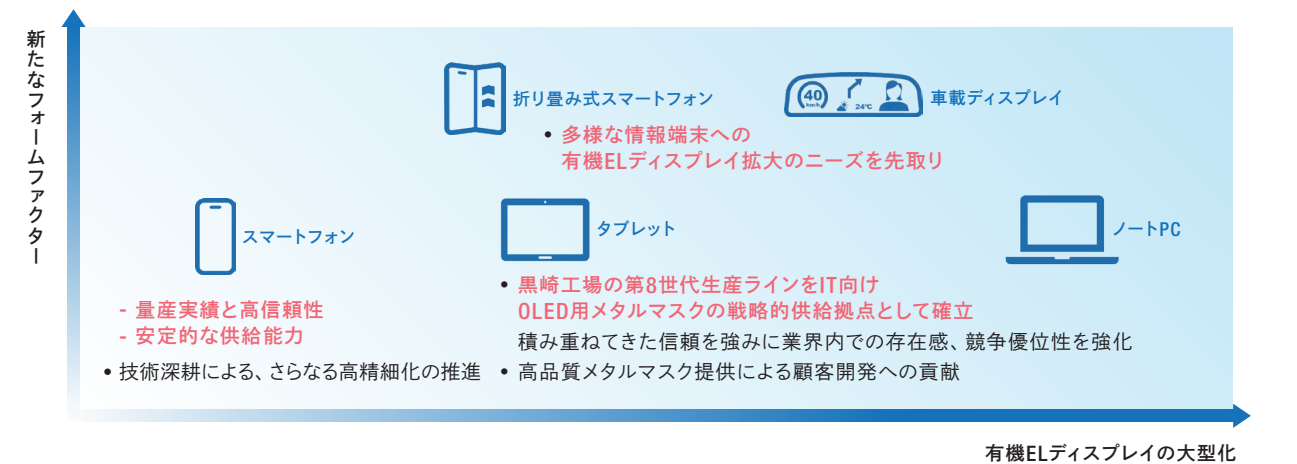


出典:Omdia Display Long-Term Demand Forecast Tracker 1Q25 Pivot with 4Q24 Result

成長戦略

- 技術の強みと特許戦略を活かし、世界トップのシェアを維持・強化
- 多様な情報端末への有機ELディスプレイ拡大のニーズを先取り
- 高品質かつ安定的なメタルマスク提供によるディスプレイ進化への貢献

事業環境	<ul style="list-style-type: none"> ・成熟期を迎えたスマートフォン市場の一方で <ul style="list-style-type: none"> - スマートフォン向けディスプレイでの有機EL採用比率の伸長 - 折り畳み端末：新たなフォームファクターの登場 ・タブレット、ノートPC、車載ディスプレイへの用途展開の加速、有機ELディスプレイの大型化
機会	<ul style="list-style-type: none"> ・有機ELディスプレイのさらなる高精細化 ・第8世代向けメタルマスクの需要拡大
DNPの強み	<ul style="list-style-type: none"> ・高い精度を誇るフォトリソグラフィ技術とエッチング加工技術 ・優れた技術開発力 ・高品質・高精細な製品を安定して供給する能力 ・材料や製造方法、製品に関する特許やノウハウを幅広く保有 <p>重点施策</p> <p>IT向けを中心とした第8世代生産ラインの強化</p> <p>メタルマスク第8世代 生産ライン（福岡・黒崎工場）は2024年5月稼働開始以降、顧客製品向けに生産を継続中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客のニーズ、計画に沿ったタイムリーな製品提供 ・さらなる品質・生産能力の向上



業績推移と将来展望

- 今後も変化するディスプレイへの対応、市場への安定供給などを推進
- 成長戦略の実行により、市場成長率を上回る年平均成長率（CAGR）9.3%の達成を計画

2024年実績

2023年度の有機ELディスプレイ新機種採用に向けた開発特需の反動による減少

2025年見込み

スマートフォン等へのOLEDパネル採用比率拡大のトレンドは継続

今後の展望

タブレット、ノートPCなどIT向けの需要増加を見込む

売上高（2022年度の実績を100とした比較）

